

# 日本保育学会第14回大会記事

\* \* \* \* \*

日本保育学会第十四回大会は、昭和三十六年五月二十日(土)二十一日(日)の両日にわたって、お茶の水女子大学講堂(東京都文京区大塚町)において開催された。

研究発表件数は五十四題(申込五十五題、取消一題)の多数であったが、会場を一つにという要望が強かったため、来会者約七〇〇名(正会員二六七名、新入会員四九名、準会員一九八名、学生会員一〇五名)が終始一堂に会して、真剣な討議が行なわれた。

プログラム

## △第一日▽

### 開会のあいさつ (九・〇〇)

副会長 莊司 雅子

### 研究発表 (九・一〇)～(一六・四二)

発表は課題により、三～六題を一グループとし、各題八分の発表時間と二分の質問時間(グループごとにまとめてとる)が割当てられた。題目ならびに発表者、連名者氏名は本誌目次参照。

## 開催校学長あいさつ (一三・〇〇)

お茶の水女子大学学長 久米 又三

## 委員会 (一七・三〇)

第一日研究発表終了後、新築の校蔭会館(大学正門隣)で委員会が開催された。

## △第二日▽

### 研究発表 (九・〇〇)～(二二・一〇)

前日にひきつづいて同様の進行方式で行なわれた。

## 総会 (一三・〇〇)～(一四・二〇)

本年度の総会は、山下俊郎会長を会則により議長とし、次の議題が竹田俊雄、村山貞雄両常任委員の説明により、承認または審議決定された。

### (一) 昭和三十五年度事業報告

### (二) 同 会計報告

### (三) 昭和三十六年度事業計画

### (四) 同 予算

つづいて次期大会の開催は、協議の上、昭和三十七年五月、名古屋において行なわ

れることに決定した。

また本年度は役員改選の時期であるが、次のように委員その他が選出された。(任期二年)

昭和三十六・七年度役員氏名

会長 山下俊郎

副会長 小川正通・莊司雅子

常任委員

児玉省・坂元彦太郎・鈴木とく・鈴木

信政・竹田俊郎・平井信義・松村康平

・村山貞雄・森脇 要

委員

秋田美子・池田勝人・植松治子・江上

秀雄・及川ふみ・大西憲明・岡田正章・

上村哲弥・菊池ふじの・城戸幡太郎・

黒木道子・小西勝一郎・齋藤一也・嶋

津峯真・周郷 博・角尾 稔・副島ハマ・

高橋さやか・珠川善子・玉越三朗・津

守 真・友松あきみち・内藤寿七郎・

西本 脩・根岸草笛・野間郁夫・波多

野完治・日名子太郎・古木弘造・堀要

・三木安正・水野浩志・宮内 孝・森  
重敏・守屋光雄・横田栄三郎  
会計監査 牛島義友

映画 (一三・〇〇)~(一三・四〇)

総会と平行して、準会員および学生会員  
のために教育映画「幼児の心」が上映され  
た。

大会準備委員長あいさつ

坂元彦太郎

会長あいさつ

山下 俊郎

倉橋賞授与式

今回の大会で発表された研究報告の中、  
次の研究が第六回倉橋賞の栄を得た。

発表題目 幼児のあそびにおける科学的

認識について(一・二報)

受賞者 四日市市立中部幼稚園

○ 坂倉哉子 諸戸千代

早川きみ子 多田和子

四日市市立教育研究所

○ 神沢 良輔

シンポジウム(一四・三〇)~(一七・三〇)

司会 山下俊郎

講師 秋田美子 安藤寿美江 神沢良輔

友松あきみち 宮内孝 宮下俊彦

題目 保育研究の現状と問題点

(要旨は本誌参照)

閉会のあいさつ

(一七・三〇)

副会長 小川 正通

こうして今大会は予定より約一時間の延  
長があったが、盛会裡に終了した。

なお、会場には、副島ハマ委員が、海外  
視察の折の貴重な資料である写真その他を  
展示された外、研究発表者が各自の研究参  
考資料を展示し、研究会場に一層の収穫を  
そえた。

大会の準備にあたっては、お茶の水女子  
大学家政学部児童学科研究生ならびに学生  
諸姉、同文教育学部付設臨時教員養成課程  
学生諸姉多数の協力を得た。ここにこれら  
の方々へ感謝の意を表します。

第十四回大会準備委員長 坂元彦太郎

準備委員 浅見千鶴子・荒尾良子・菊

池ふじの・津守真・平井信義・

松村康平

以上

\* \* \* \* \*

幼児の教育 第六十巻 第九号

九月号 © 定価 六十円

昭和三十六年八月二十五日印刷  
昭和三十六年九月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼  
発行者 津 守 真

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社フレールベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売  
所フレールベル館にお願いいたします。